

音楽とは 横への感性なり!

合唱団ホームページアドレス

<https://www.wiengifu.org>

5月号

2023年5月1日

編集・発行

ウィーン岐阜合唱団

まち ごと おどたの
岐阜の街 ウィーンの如く 音楽し 作:音楽総監督 平光 保

～ 伴奏ピアニストとして ～

ウィーン岐阜合唱団・ピアノ伴奏者 田本将也

昨年10月から伴奏ピアノを担当させて頂いている田本将也です。私は音楽大学に通っていますが、声楽やその他楽器の伴奏は経験がありましたが、合唱団は初めてです。小学校や中学校でやってきた合唱とは違い、指揮に合わせることや歌と呼吸を合わせるなどたくさんを求められます。ですが、自分のソロの演奏にも繋がるようなことが沢山あり毎回とても勉強になっています。なにより平光先生からの指導はレッスンを受けているようでとても貴重な経験をさせてもらっています。合唱団のみなさんの本番に向かうにつれ成長していく姿を見ることが出来、感激しています。これからもみなさんの演奏に少しでも貢献出来るよう伴奏ピアニストとしてサポートしていけたらと思っています。

3月26日に行われた定期演奏会、お疲れ様でした。私も合唱のメンバーとして参加させて頂きました。本番では練習よりも一体感が生まれとても良い演奏が出来たと思います。



さて、今回は私の音楽との関わりについて知ってもらえたらと思います。私と音楽との出会いは幼稚園の頃です。毎年ピアノを弾きに来てくださる方がおり、その時聴いたベートーヴェンの「エリーゼのために」に感激を受けピアノをはじめることになりました。ピアノをやるにつれ音楽というものに夢中になっていき今では音楽大学で音楽を専門に学んでいます。

私が音楽する上で大切にしている事は感情を音にのせるという事です。同じ曲を演奏しても人によって感じ方が異なったりします。その時の感情でも音が変わったりします。例えば楽しいことを想像すると明るい音が出たり、悲しいことを想像すると暗い音が出ます。私がやっているピアノはもちろん、みなさんがやっている合唱もそうだと思います。歌詞にある気持ちになって歌うことで一体感が生まれ、お客さんの心を動かすことが出来ます。先日行われた定期演奏会の前日練習では皆さんの心がひとつになり感情が音にのってとても感動したことを覚えています。そんな演奏を私もしたいと思っています。音楽を演奏する側も聞く側も様々な感情になることが出来ます。これが音楽の一番素晴らしい所だと私は思っています。年末には第九演奏会というとても大きな舞台があります。みなさんと共に成長していけたらと思います。これからもよろしくお願いいたします。

ちょっとした話 定年後 13 年生の戯言^{たわごと}

岐阜・テノール 竹中千尋

私、ウィーン岐阜合唱団に入団して12年ほどたちます1年間ほど退団していましたので実質11年ほどの合唱経験です。その間ウィーン合唱団ならではの曲をたくさん歌わせてもらいました。合唱組曲“山に祈る”“旅”“わたしの願い”“ふるさとの四季”“土の歌”“子供歳時記”“水のいのち”等。全部暗譜です。フォーレの“レクイエム”も暗譜ですよ！ということで、古参の方々には当たり前の話で面白くもないと思いますが、最近入団された方々に限定で、ちょっといい話を。

最近の“戴冠ミサ曲”“土の歌”これは楽譜を持ちました。“戴冠ミサ曲”は難曲すぎる、“土の歌”は練習期間が非常に短い等の理由でさすがに暗譜は無理があると平光先生が判断されたのだと思います。因みに私の暗譜の方法は朝のウォーキング時に繰り返し口ずさみ覚えて夕方風呂の中で再生して確かめるという方法です。平光先生の指揮曲の確認がウォーキング時であることを話されましたが、先生にして日々地道な努力されていることがわかりました。ウォーキング時の暗譜は一度つまずくと二度と思い出すことができないことが多くストレスが溜まるだけです。正確なメモ書きは必須です。寄る年波には勝てず練習のたびにダメ元でパートリーダーの垣見さんに楽譜見てもいいように交渉をお願いしていましたが「ハイハイ」と軽く受け流されて実現するはずもなく当然無理だとあきらめていましたが・・・なっなんと“土の歌”楽譜を見てもいいことに・・・12年前の1回目の寄稿の時私の予知能力(言葉にして発すると実現する)について書きました・・・なんとまたしても発したら実現・・・まだ能力継続してる！預言者だ！神だ？と再度確信・・・でこれがいい話でも何でもありません。ちょっと寄り道です。

でいい話なんですけどその前にちょっとストレスの話 最近我が家の真ん前に宅地造成で1か月余り重機の音と土埃で肉体的精神的ストレスが蓄積、これから解放されたと思った矢先、寄稿の依頼、新しいストレス！！でもストレスのない生活は歩けば徘徊、食べればこぼす。そう適度なストレスとオーラルフレイルは健康健全な生活に必要です。このストレスを良い方向にむけなければと、パソコン立ち上げ久しぶりにワードを開く、しばらく使っていないとこのソフトも抵抗そして勝手に終了。これも寄り道でした、気を取り直して軌道修正。

それで本題の“ちょっといい話”なんですけど、本当にほんのちょっとです。年末第九との抱き合わせの発表曲が“ぞうれっしゃがやってきた！”になったことです。

これはいい曲です。何がいいかっていうと

1. 歌詞がいい 「娘たちは寒さを忘れ・・・」ここ数年このフレーズが好きで口ずさむことが多かったような気がします。
2. 「雪よ一降るな・・・」メロディがいいこのフレーズも口ずさみやすい。
3. 象使いの娘役の真由子先生の歌がいいセリフがいい振付がいい。

4. 園長役の井上さんのセリフがいい声がいい。臼井団長の軍人がいい、すっかりピツタリはまり役。
5. 「ながら児童合唱団」が素晴らしい。歌と振付とても素敵。特に振付・・リズムカルで切れがあり統一感が抜群。

児童合唱団といっても小学生ばかりではないみたいです。前回共演した時のこと舞台登壇前に通路で並んでいるとき、どお見ても中学生以上の子(娘)が数人いたので「何年生?」「高校生です」「えっ児童じゃないよね」「卒団生です」「あなたもあなたも?」そっと手を挙げた子(娘)が「短大生です」「・・ええっつ!」児童とは名ばかり、ウィーンと一緒に名ばかり合唱団、他団を責められない、若いけど年季が入ってる、だからうまい、小学生から大学生まで生き生きとして楽しそうで可愛いから「まあいっか」全部許せる。前回共演は5年ほど前だからメンバーは入れ替わっていると思いますが指導の先生は健在なので今回も素晴らしいパフォーマンスを見せてくれると思います。あの子(娘)たちはどうしているのでしょうか?。どおなっているのでしょうか?。恐ろしいやら、見たいやら、ママさんが児童合唱団にあってことはさすがにないですよ。この記事の掲載は5月と聞いています。わが団の練習は佳境だと思えますが子供たちも練習に励んでいると思えます。合同練習は秋でしょうか待ち遠しいですね。2月号でこの曲が待望の曲で「やったー!」と大垣の古田さんが書いてましたね、曲の良さは彼女がしっかり書いてくれましたので私は少し視点を変えてみました。私も「やったー!」って感じです。子供たちのパフォーマンスが始まったとたんに会場の雰囲気ガラッと変わります。こんなチャンスはめったにないので、10歳20歳ほど若返って一緒に頑張る楽しみましょう。観衆も一緒に楽しめる曲です。皆さんにしっかりアピールしてたくさんのお客さん目指しましょう。ちょっといい話でした。

『音楽の危機』～《第九》が歌えなくなった日～（岡田暁生著）を読んで

大垣・インスペクター 山田秀子

2020年9月、世界中がコロナ禍のある日、書店で恐る恐るこの本を手にとったことを今も思い出す。そしてこの頃私は、「もしかしてこれからはオーケストラと一緒に合唱団がステージで歌うことなんか不可能かもしれない」と思っていた…

今、ようやく政治的なプロセスにより、新型コロナの収束とみなされようとしているが、この本を読んでから、「音楽をする」意味を考えさせられた。ウィーン岐阜合唱団の演奏会を色々な制限がある中でも開催することで、その意味は分かるかもしれないと思った。

日本経済新聞の「春秋」コラム（2020.4.17 掲載）で、「その時（=人と再び触れ合えるようになる日）どんな歌を口ずさもうか」という一節があったそうだ。まさに、今年12月に4年ぶりに演奏する《第九》はコロナ後の世界観を感じ、《ぞうれっしゃがやってきた》は、平和を願い、「自分で音楽する」思いで、口ずさみたい。

5月～7月の練習予定

♪～準備が先、声は後～♪

平日 (18:30~20:30)		日曜 (14:00~16:00)
岐阜	大垣	各務原
長森コミュニティーセンター	大垣市南地区センター	ウィーン岐阜ホール
5月4日(木) 休み	5月5日(金) 休み	5月7日(日) 休み
5月11日(木)	5月12日(金)	5月14日(日)
5月18日(木)	5月19日(金)	5月21日(日) 14:30~16:30
5月25日(木)	5月26日(金)	5月28日(日) 14:30~16:30
6月1日(木)	6月2日(金)	6月4日(日)
6月8日(木)	6月9日(金)	6月11日(日)
6月15日(木)	6月16日(金)	6月18日(日)
6月22日(木)	6月23日(金)	6月25日(日)
6月29日(木)	6月30日(金)	7月2日(日)
7月6日(木)	7月7日(金)	7月9日(日)
7月13日(木)	7月14日(金)	7月16日(日)
7月20日(木)	7月21日(金)	7月23日(日)
7月27日(木)	7月28日(金)	7月30日(日)

🎵 コンサート『ぞうれっしゃがやってきた』 🎵 のお知らせ

期日：5月22日(月) 開演 11:00 (開場 10:30)

ウィーン岐阜ホール (ときめき) 各務原市蘇原花園町 2-66-12 ☎058-383-7335

♪プログラム♪ 第1部 Vn 楽興の時 シューベルト Vo アヴェ・マリア マスカーニ
ロマンスへ長調作品50 ベートーヴェン かあさんだけは忘れない 平光 保
ラ・クンパルシータ ロドリゲス << 他 >>

第2部 ミュージカル「ぞうれっしゃがやってきた」 藤村 記一郎

Violin 平光 真彌 Vocal 栗木 順古 Piano 平光 保

(後援/日本指揮者協会・愛知県立芸術大学音楽学部同窓会岐阜支部)

当日は『ぞうれっしゃがやってきた』の作者である名古屋在住の小出隆司さんがときめきホールにみえて、当時の時代背景や東山動物園のことなど貴重なお話をさせていただく予定です。お楽しみに。

演奏会 : 2,000円 (定員49名まで) 宴会 2,000円 12:30~ (定員27名まで)

申し込み : 田中 : 090-1626-8697、高橋 : 090-9933-0374 まで

合唱団スタッフ交代のお知らせ 会計スタッフとして3年間お世話になりましたテノールの田口舘男さんの後任としてアルトの加藤喜久子さんをお願いすることとなりました。加藤さん宜しく願いいたします。田口さん、平光先生が日頃立たれる指揮台が田口工房の作品であることを団員は忘れておりません。有り難うございました。お二人とも引き続き合唱団に力強いご支援をいただけることを嬉しく思います。

広報より 皆様からのご意見・ご投稿をお待ちしております。ご投稿・ご質問等は下記までお問い合わせ下さい。

坂井 俊郎 mail : sakai_gifu@yahoo.co.jp 090-7041-9133

高橋 なお子 mail : wien.chorus2021@gmail.com 090-9933-0374